

令和5年12月18日

箕輪町議会議長 荻原 省三 様

福祉文教常任委員会 委員長 中村 政義

箕輪町議会委員派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	福祉文教常任委員会視察研修
研修の期間	令和5年10月30日～令和5年11月1日
研修の場所	(株)DAI それいゆ 縁活おもや あいとうふくしモール アクティブ鈴鹿 わか菜の杜
成果 (具体的に)	別紙のとおり
委員会名 派遣議員名	福祉文教常任委員会 中村政義、小口智世、入杉百合子、小出嶋文雄、上田学、北野めぐみ 白鳥真吾、荻原省三議長

- 今回の視察で、改めて福祉事業の継続的な運営の難しさが分かった。人手不足という地域の課題解決にマッチしても、障がい者の作業能力の問題等が問題だ。安定した作物も必要で、現況と地域の状況にあった、箕輪町のスタイルを作る必要がある。
- 様々なパターンの事業を視察できたが、どこも「しくみ」作りから始めるというよりは「人の思い」からしくみができ、それが地域に広がっていったと感じた。農福連携に対する強い思いがないと、実現は難しいと感じた。
- 障害者の就労支援の場の確保と農業の人手不足の対策として、町、県、JAなど農業者と福祉施設等との連携していくことが必要。